

【RI検査について】

- 微量の放射線を出す薬(放射性医薬品)を注射して、その体内分布状態や時間的変化から病気を診断する検査です。
- 放射線の量(被曝量)は検査の種類によって異なりますが、およそ胸のX線写真程度から、CT検査1回程度です。
- いずれの注射薬も副作用の報告が極めて少ない安全な薬剤です。皮疹や嘔吐、発熱、ショック等の報告がありますがあまりに少ないため、正確な頻度は計算できず0.1%未満といわれています。
- ほとんどの検査では着替えていただく必要はありませんが、ベルトやアクセサリ、ポケットの小銭などの金属類は外していただきます。
- 心臓の検査では心電図を付けたり、運動をしながら検査をする場合がありますので、着替えていただきます。着替えやすい服装でお越しください。
午後の撮影までではできるだけ安静にさせていただきますので、なるべく付き添いの方とお越しください。

